

エコアクション21 環境経営レポート



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD			SDGsが掲げる17の目標
1	NO POVERTY	貧困をなくそう	1 貧困をなくそう
2	ZERO HUNGER	飢餓をゼロに	2 飢餓をゼロに
3	BETTER HEALTH AND WELL-BEING	すべての人に健康と福祉を	3 すべての人に健康と福祉を
4	QUALITY EDUCATION	質の高い教育をみんなに	4 質の高い教育をみんなに
5	GENDER EQUALITY	ジェンダー平等を実現しよう	5 ジェンダー平等を実現しよう
6	CLEAN WATER AND SANITATION	安全な水とトイレを世界中に	6 安全な水とトイレを世界中に
7	AFORDABLE AND CLEAN ENERGY	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8	DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	働きがいも経済成長も	8 働きがいも経済成長も
9	INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10	REDUCED INEQUALITIES	人や国の不平等をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
11	SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	住み続けられるまちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを
12	RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION	つくる責任つかう責任	12 つくる責任つかう責任
13	CLIMATE ACTION	気候変動に具体的な対策を	13 気候変動に具体的な対策を
14	LIFE BELOW WATER	海の豊かさを守ろう	14 海の豊かさを守ろう
15	LIFE ON LAND	陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
16	PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	平和と公正をすべての人に	16 平和と公正をすべての人に
17	PARTNERSHIPS FOR THE GOALS	パートナーシップで目標を達成しよう	17 パートナーシップで目標を達成しよう



認証番号 0010804

(取組期間：令和6年4月～令和7年3月)

作成日：令和7年5月14日

(学校法人 渚野学園)
幼保連携型認定こども園
富士見が丘こども園

目次

理事長・環境管理責任者のあいさつ	1
富士見が丘こども園の概要	2
環境経営方針	3
環境経営目標	4
環境経営計画	5
実施体制図・役割と権限	6
活動実績と評価	7・8
今後の活動について	10
各項目の活動内容紹介	11・12
環境関連法規の遵守状況	
代表者による全体の評価と見直し記録	13

認証登録範囲
(全組織・全事業活動)
・富士見が丘こども園
・認定こども園における教育・保育の提供

☆環境への思い☆

私たち大人には、「次世代の子ども達にこの素晴らしい地球環境を残し、つなぐ」という大きな使命があります。

便利さを追求するがゆえに破壊されていく「環境」（自然・水・森・食糧、エネルギー、ゴミ等々）を「本気で良くしたい」と思う一人ひとりの気持ちが湧き上がってこなければ、この美しい地球を子ども達に残すこと、つないでいくことはできないでしょう。

よりよい環境を整えるには、まず、人としての「モラル」がとても重要になってきます。自己中心な思考ではなく、他者を思いやる優しさ・気持ち、そして、もっとも大切な「想像力」なくして、環境を整えることは難しいことだと思います。

この「エコアクション21」を通して、環境の中で生かされている事への「気付き」・「感謝」を学ばせていただきながら、小さなあゆみかもしれませんが、こども園（学校）・家庭・地域が今以上に、しっかりと手をつなぎ、協力しながら、素晴らしい環境づくりに邁進してほしいと心より願っています。

☆園児・保護者・地域へのメッセージ☆

次世代に生きる子ども達へ・・・小さくても一緒に考え、取組めることがたくさんあります。すぐに諦めないで、私たちと一緒に、きれいな街、国をつくっていきましょう。

保護者のみなさまへ・・・命をつないでくれる大切なわが子のために、美しい環境をつないでいきましょう。足元の環境を整える努力を惜しまず、わが子のために頑張りましょう。

地域のみなさまへ・・・園児や保護者が日々幸せに生活できるのも地域のみなさんの支援のおかげです。地域環境の保全に力を合わせ努めていきながら、地域が育つ環境づくりをしましょう。

理事長 淵野 二三世

環境管理責任者あいさつ

新型コロナウイルスの制限から色々なことが緩和され、以前のような日常生活が送れるようになりました。コロナ禍でエコアクション21について忘れていたものも多くあり、再度教職員や保護者、子どもたちにエコについて意識してもらえるように伝えていっているところです。

しかし、どんな時でも私たちのテーマ「子どものことを第1に考える」スタンスは全く変わっていません。時代の変化や保護者のニーズに合わせた生活を考えながら、これからも教職員ができること、保護者と一緒にできること、地域の人と一緒にできることを引き続き取り組んでいます。

環境管理責任者 中川 沙織

(学校法人 渚野学園) 幼保連携型認定こども園

富士見が丘こども園の概要

園名及び 代表者名	昭和47年に渚野文男により(学校法人渚野学園)富士見が丘幼稚園として創立し、 平成27年4月に(学校法人渚野学園)幼保連携型認定こども園 富士見が丘こども園 として、運営しています。 令和5年度より富士見が丘こども園に園名を変更。 理事長・園長 渚野 二三世
所在地	大分市富士見が丘東2丁目8番6号
園の概要	昭和51年4月に開園、大分市の西部、富士見が丘団地内に位置し、園舎からは鶴見岳・ 由布岳・高崎山を展望できます。また、園内も四季折々の草花、柿・桑・栗・イチヨウな どの木々があり、季節を味わえる環境です。 また、地域に根ざした園を目指し、団地内のお年寄りと交流したり、地域のイベントに出 場したり、赤十字活動にも積極的に参加しています。 現在は、0歳児から就学前の子どもが通園しています。日々の生活の中で様々な遊びや行 事、異年齢交流を通し子ども達は成長しています。 子どもたちが心豊かな元気な子どもに育つように、定員数を大幅に下げ、安心安全な環境 の中で子どもたち一人ひとりを支援するための教育・保育を提供しています。
教職員数	理事長・園長1名 副園長1名 保育教諭 8名 助教諭2名 預かり担当2名 事務1名 バス運転手2名 用務員1名 看護師 2名
クラス名 園児数	0歳児：あひる組 1歳児：うさぎ組 2歳児：つくし組 3歳児：さくら 4歳児：きく組 5歳児：うめ組 インターナショナルクラス：chicks クラス 児童発達支援クラス：たんぽぽ 全園児数 86名
建学の精神	『心豊かな元気な子ども』の育成
安心安全 な環境の 取り組み	1. 九州初 ISO9001 認証取得 2. プライバシーマーク取得 3. 青少年赤十字加盟園 4. 大分県第一号認定こども園・未満児受入れ認定 5. 園内の水道水が全てミネラルウォーター 6. 光触媒でコーティング(砂場・プール・送迎バス) 7. 厳選された絵本の読み聞かせは卒園までに1000冊の読み聞かせ 8. 平成25年 耐震工事完了 9. 平成27年 認可保育園開園 10. 平成27年 私立幼稚園では全国初エコアクション21取得 11. 令和5年 児童発達支援事業所たんぽぽ開設

環境経営方針



富士見が丘こども園は、みどり豊かな大分市富士見が丘に位置し、創設者 渕野文男の遺訓『誠実・感謝・反省・報恩』を原点として、地域社会とともに『心豊かな元気な子ども』の育成に努めています。

私たちは、人類にとってかけがえのない地球環境を大切にし、人々が安心して暮らしていけるよう、教職員、保護者、園児たちが地域社会と力を合わせて環境保全活動に取り組んでまいります。

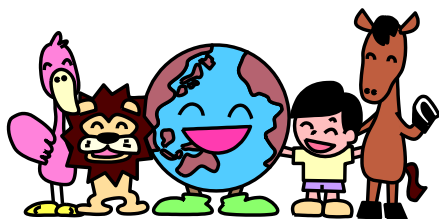


私たちは、地球環境への配慮を目的に、環境経営システムを有効に生かし、継続的改善を図るために、以下のことを実施していきます。

1. 園児に対して子ども達は、環境を通して成長し、その日々の生活の中から、自分を取り巻く環境に興味・関心を高め、やさしい行動が自然に身につくよう、環境教育を計画的に行います。
2. 教職員が中心となって
 - (1) 電気や石油資源を大切に使います
 - (2) 水を大切に使います
 - (3) ゴミは分別し、リサイクルに取り組みます
 - (4) 環境教育への取り組みを行います
3. 環境に関係する法令やルールを守ります

教職員は、子ども達とともに「環境経営方針」に沿って取り組みをすすめ、保護者の皆さま、地域の皆さまに必要な情報を公表し、安心して安全な富士見が丘こども園をともにめざしていきます。

平成27年10月1日
更新日令和 7年 4月1日



(学校法人渕野学園)
幼保連携型認定こども園
富士見が丘こども園
理事長 渕野 二三世

富士見が丘こども園の環境課題

1. 二酸化炭素の排出量は、令和4年度実績を基準値として、毎年1%削減します。
2. 水の使用量は、令和4年度実績を基準として、毎年1%削減します。
3. ゴミは分別して、紙類、缶、ビン、ペットボトルの再資源化を図ります。
4. こども達への環境教育を計画的に行います。
5. こども園の活動について、地域に情報発信します。
6. 地域の皆さまと協力して、園周辺の清掃を定期的に行います。
7. 教職員・園児が協力して、四季折々のきれいなお花を育てます。



© CanStockPhoto.com

上記のほか、購入する材料、資源は、できるだけ環境に優しい製品を優先選択します。

数値目標（令和6、7年度）

【各年度の対象期間は、4月～翌年3月】

環境経営方針の番号	選択課題 (単位)	基準年度 令和4年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標
1	二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂)	34,542	基準年度比 △1% 34,196	基準年度比 △2% 33,851
1-1	電気使用量削減 (kWh)	42,767	基準年度比 △1% 42,339	基準年度比 △2% 41,912
1-3	軽油使用量削減 (ℓ)	3,124	基準年度比 △1% 3,093	基準年度比 △2% 3,062
1-4	灯油使用量削減 (ℓ)	1,539	基準年度比 △1% 1,524	基準年度比 △2% 1,508
1-5	都市ガス使用量削減 (m ³)	1,002	基準年度比 △1% 992	基準年度比 △2% 982
2	水使用量削減 (m ³)	1,232	基準年度比 △1% 1,220	基準年度比 △2% 1,207

電力の二酸化炭素排出係数：九州電力 2020年度 調整後排出係数 0.479

実行管理目標

※実行状況は管理（記録、関係者で共有、評価、見直し）します

3	廃棄物分別、再資源化管理。	管理責任者を決めて確実に対応する ・紙類・缶・ペットボトルの再資源化に努める
4	環境教育の計画的実施	環境経営計画に沿って、環境教育を計画的に実施する
5	園の活動を地域に情報発信	エコキャップ回収・募金活動・バザー・ベルマーク 募金活動やバザーなどの協力、地域ボランティア活動に積極的に参加する
6	地域社会を綺麗にする 社会貢献活動	地域の皆さんと協力して、園周辺の草花のお世話をする
7	花壇や畑の手入れ	朝の清掃やミントの会（園芸の会）の活動で実施する

※グリーン購入は、進捗管理対象には含みませんが、継続して取り組みます

私たちの環境経営計画



更新日 令和7年4月1日

対象期間 令和7年4月～令和9年3月

環境目標 番号	目標課題	具体的な行動（活動）	頻度	実行管理者
1	二酸化炭素排出量削減			中川
1-1	電力消費量削減	1. 細かな節電を心掛ける 2. 空調は必要な区域や時間を限定する 3. エアコンフィルター清掃（毎学期） 4. 使用しない設備のプラグ抜き、節電設定	毎日 毎日 学期に1回 毎日	各担当4名
1-2	軽油消費量削減	1. 園児数が少ない時は運行台数を減らす 2. エコドライブと運転方法の実行 3. 乗車前の点検（タイヤ空気圧など）	状況に応じて 毎日 毎日	各担当2名
1-3	灯油消費量削減	1. 細やかな節約を心がける	冬場	各担当1名
1-4	都市ガス	1. 細やかな節約を心がける	状況に応じて	各担当1名
2	水使用量削減	1. 子どもの水の使い方（水道・トイレ）の指導 2. 夏場のプールの節水を心掛ける 3. 節水の意識向上に向けて壁面設置	毎日 夏場 毎日	各担当4名
3	廃棄物分別管理 再資源化	1. 各クラス・園庭ともに決められたゴミ箱に分別して捨てる（リサイクル推進） 2. 毎週土曜日に契約業者に収集してもらう 3. できるだけ詰めてゴミ袋に入れるなど、ゴミの捨て方の指導	毎日 週1回 毎日	各担当4名
4	環境教育	1. エコキャップ回収は、保護者・子どもに呼びかけ、継続的に実施 2. お散歩ゴミ拾いを通して、身近な環境に目を向ける 3. 生活におけるゴミの分別の仕方を教育する	適時 適時 適時	各担当1名
5	情報発信	1. 地域の公民館に活動ポスターを掲示してもらう 2. ポスターをこども園に掲示し、通行人にみてもらえるようにする	状況に応じて 状況に応じて	各担当1名
6	社会貢献への参加	1. 保護者に盲導犬募金、被害者支援センターのバザー、キワニスバザー、ベルマークなどの案内をし、協賛する 2. 子どもは赤十字・盲導犬育成の募金活動などに参加する・協力する	適時 状況に応じて	園長
7	花壇や畑の手入れ	1. 草花、野菜を育てるうえでの手入れの仕方の教育 2. 幼稚園舎・保育園舎周辺の自然環境の整備	状況に応じて 適時	各担当1名

※事務用品など、園で購入する物品は、環境に優しい製品をできるだけ優先購入します

実施体制図



役割と権限

代表者	・環境経営に関する統括責任者であり、必要な経営資源(人・物・資金)の準備 ・環境管理責任者の任命環境経営方針の策定 ・環境関連法規等のとりまとめ表、遵守状況結果の承認 ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制、環境経営レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・運用・管理に関する責任者・推進委員会の責任者 ・環境経営システムの運用・管理状況を代表者に報告する ・環境関連法規等のとりまとめ表、遵守状況結果の確認 ・環境経営目標・環境経営計画、実施体制、環境経営レポートの確認 ・緊急事態の想定及び対応策の承認、是正及び予防処置の承認
事務局	・環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理、環境経営レポートの作成 ・外部環境コミュニケーションに関する窓口
エコアクション21推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達・意見交換 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告
電気担当	・電気の使用状況の確認及び、状況によっては教職員に呼びかける
ごみ担当	・ゴミの捨て方・分別状況の把握・状況に応じて
水担当	・水道やトイレの水の流れっぱなしなどがいないかの現場把握 ・出来ていないクラスの園児に指導・教師の教育の徹底
環境学習担当	・エコ活動の年間計画の設計・実施の呼び掛けや全園児への教育時の進行(赤十字活動・エコマザー・省エネ講座・お散歩ゴミ拾いなど) ・環境経営レポートの作成協力
情報発信担当	・エコ活動のねらいや、様子などを保護者や地域に発信する(エコ通信など) ・本活動の目的を教職員にしっかりと伝える
軽油担当	・エコ運転(スタート・停止時)を心がけ、燃費削減に努める ・バスルート作成時にはエコを考えたルートを検討
集計・評価担当	・事務情報の集計・現状の評価をし、状況に応じて教職員に周知・徹底する

環境経営目標・環境経営計画管理表

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

結果： 達成=◎ 未達成=×

電力の二酸化炭素排出係数：0.479 を使用した

		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	年度計
二酸化炭素排出量削減 *令和4年度比 △1% 単位：kg-CO ₂	基準年度	7,183	7,294	7,540	8,232	30,248
	目標値	7,075	7,184	7,427	8,109	29,794
	実績	6,108	8,072	7,661	10,204	32,045
	結果	◎	×	×	×	×
	評価	安定できない月が増えている。対策を考えていきます。				
電力使用量 削減 *令和4年度比 △1% 単位：kWh	基準年度	6,986	9,545	7,480	8,687	32,698
	目標値	6,776	9,259	7,256	8,426	31,717
	実績	8,018	12,671	9,599	11,788	42,076
	結果	×	×	×	×	×
	評価	年長の部屋の使用頻度・時間が多いように思いますので、気を付けていく。				
軽油使用量削減 *令和4年度比 △1% 単位：ℓ	基準年度	1,404	943	1,440	1,122	4909
	目標値	1,390	934	1,426	1,111	4,860
	実績	664	598	708	660	2,630
	結果	◎	◎	◎	◎	◎
	評価	園児送迎バスの燃料であるが、車両の整備点検の継続と運転担当のエコドライブ徹底が、目標達成につながっている。				
灯油使用量削減 *令和4年度比 △1% 単位：ℓ	基準年度	0	0	0	347	347
	目標値	0	0	0	344	344
	実績	0	0	272	906	1,178
	結果	◎	◎	×	×	×
	評価	暖房はエアコンと灯油を主エネルギーとして利用している。 後半目標達成できなかった。				
都市ガス使用量削減 *令和4年度比 △1% 単位：m ³	基準年度	2	1	8	24	35
	目標値	2.0	1.0	7.9	23.8	34.7
	実績	257	213	259	277	1,006
	結果	×	×	×	×	×
	評価	令和4年度からの給食の園内調理が使用するガスが大きく影響している。再度見直すことも検討する。				
水使用量削減 *令和4年度比 △1% 単位：m ³	基準年度	351	346	363	240	1,300
	目標値	340	336	352	233	1,261
	実績	262	312	333	241	1,148
	結果	◎	◎	◎	×	◎
	評価	水遊び、プール用の水をためて使用したりしている。冬場が感染症予防のために水を使用することが多くなったことが影響している。				

環境経営目標・実行管理表

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

結果の記載：達成＝◎ 未達成＝× まあまあ達成＝△

実行管理目標の評価は、各期の実績と環境経営計画の実施状況を対象に環境管理責任者事務局で記載し、代表者に報告する。その際、年度の目標未達や達成に困難を生じた課題については「問題点」として取り上げて、予防・是正処置、再発防止策を講じる

No.	環境目標		4月 5月 6月 目標	7月 8月 9月 目標	10月 11月 12月 目標	1月 2月 3月 目標	評価者中川
3	廃棄物削減 分別管理 紙・PET リサイクル 管理者による実行管理	結果	ゴミ箱を分別しやすいようにし、各クラスで指導している	教職員も日々気を付けて生活している	子どもへの指導も定着してきている	分別自体が大分正確に出来る子どもが増えてきた	◎
		評価	新入園児も頑張っている	子どもたちの分別意識は伝わってきている	日々の積み重ねの成果が出つつある	次年度も進級児・新入園児にしっかり引き継ぎたい	
4	環境教育推進 管理者による実行管理	結果	園内のゴミ拾いにも目が向くようにし、九電のエコマザーにきてもらい、学習した	エコキャップの話や水についての話をした。今年からベルマークにも目を向けてきた	お散歩ごみ拾いをしながら、ごみの種類を確認したりした	電気、エコキャップ、水、消毒の取り扱いを大事に話し、今後も頑張るように伝えた	△
		評価	ゴミ拾いや分別の仕方、エコについての話を外部の方にも依頼し、子ども達に向けて取り組んだ	トイレの水の使い方がよくないので、できるエコには取り組んだ	子どもたちの意識は随分変わった。おうちの人もエコの話をしていたようだ	電気代がかなりあがっているの、こまめに消すなど一人ひとりの意識がまだまだ必要である	
5	環境情報発信 管理者による実行管理	結果	エコについての保護者宛て文書を配布した	HP やインスタ、チラシなどでもエコについて記載し情報提供した	引き続き情報提供を意識して行っていく	継続していけるようにしていく	△
		評価	エコキャップやベルマークの協力が増えた	地域の人が情報を見て下さり反応があったりもした	回覧板や公民館での掲示のお願いが難しいため、SNSを利用する	地域の方にもっと知ってもらうためにもSNSを上手に使用していく	
6	社会貢献 エコキャップ収集、ベルマーク収集、募金、バザー 管理者による実行管理	結果	エコキャップ集め、ベルマーク回収は継続している	各クラスにエコキャップ入れがあるので、各クラス意識している	引き続きできるときにできることを行っていく	継続して発信し、地域の人の参加も増えた	◎
		評価	エコキャップ・ベルマーク収集については、子ども・保護者ともに収集意識があり、浸透してきた	勝負にもこだわることも大切だが、ペットボトル問題にも目を向けることにしたため、無理強いはしないようにした	エコキャップ・ベルマーク集め以外に何ができるのか、教職員で様々なことを試案している	ベルマークはたくさん集まっているが、集計方法はスムーズにいった。今後は誰でもできるようにする	
7	花壇、畑の手入れ 朝掃除やミントの会 管理者による実行管理	結果	ミントの会だけでなく、整備の維持ができた	子ども達にも環境美化について伝える必要がある	保護者の方だけでなく、卒園児の保護者にも協力いただけるようになった	新年度に向け、環境整備を引き続きおこなっていく	◎
		評価	花壇の手入れに力を入れ、環境美化の意識が高まってきた	花壇の手入れに力を入れ、環境美化の意識が高まってきた	子ども達や教職員の意識も少しずつだが変わってきている	子ども達もジョウロで水をあげたりと手入れができるようになってきた	

今後の活動について



○電気

変わらず大きな課題である。特に保育園は生活時間が長い分、電気代は幼稚園より高い。引き続き、節約していきたい。

○軽油

昨年同様大きく削減できている。アイドリングストップも意識している。削減継続目指して頑張っていきたい。

○水

水道代は安くなっているが、園のトイレは自動水栓ではないため、レバーを戻すことがうまくできない子どもがおり、水が流れたままになることがある。まだまだできることはあるので、ポスターや張り紙効果もある。今後も根気強く伝えていきたい。

○廃棄物分別

大分定着はしてきたが、今後も一人ひとりが確実に分別していけるようにしていく。

○環境教育推進

分別に関しては、どの年齢でもわかりやすいように表示を変えた。
また、保護者にもプリント等で知らせていくことで、親子でも気をつける家庭がでてきている。
嬉しい変化であると感じる。

○社会貢献

エコキャップ集めは自然な形にしたでできている。協力できる時にしてもらうことでワクチンに代わっている
ので、このまま続けていきたい。
また、教職員と話しあい、令和5年度からベルマーク回収を行うことにした。まだまだ浸透はしていないが、
できることは増やしていく。

○手入れ

朝の清掃を通して、自然環境の整備ができている。今後も引き続き行い。子どもたちにも声をかけていきたい。



富士見が丘こども園 エコ通信

R7. 5. 12

富士見が丘こども園はエコアクション21の認証を取得しています。

日々「エコとは?」「エコできそうなことはないか?」と教職員と子どもたちで様々な活動に取り組んでいます。

環境問題が取り沙汰される現代、今年度も私たち一人ひとりに何か出来ることはないか?と考えながら、

【エコ】について様々な取り組みをしていきたいと思っています。

ご家庭でも【エコ】についてお子さんと取り組んでみませんか!

①電気

「コンセントの差しっ放し・
電気の点けっ放しを〇にしよう」
保育室とトイレの電機は、LEDライトを使用し
ています。トイレの電気は自動です。
コンセントも必ず抜いて帰ります。



②ゴミ

「分別してゴミを捨てよう」
汚れたゴミ、燃えないゴミ、紙の3つに分別し、リ
サイクルを意識することで、ゴミの焼却時に発生す
る二酸化炭素を削減します。ゴミ箱の表示を分かり
やすくして、子ども達と一緒に取り組んでいます。
保育園も同様に行っています。



③水

「節水しよう」
水道の蛇口はしっかり閉めてポタポタしていないか?
水の量に気をつけるように声をかけています。家庭で
も手洗中・歯磨き中の水は止める等も心がけてみま
しょう。また、水は限りある資源ということを意識し
大切に使いしていきたいと思っています。



④環境学習(青少年赤十字の活動にも繋がっています)

「エコキャップとベルマークを回収」「落ちていたゴミに気づきゴミ箱へ」

1. エコキャップとベルマークについては、保護者の皆様の力が必要です。どうか、ご協力お願い致します。ちなみに、このエコキャップは、発展途上国の子ども向けに、ワクチンの資金となります。

令和6年度は52kg集まりました! 38人分の子どもたちを救うことができます。
ベルマークは4940円分集まりました!

2. お散歩ゴミ拾いを園内外で再開する予定です。園内のゴミ拾いをしたり、園外でもお散歩をしながらゴミ拾いをします。そのゴミを分別して行きます。

⑤ガソリン

アイドリングストップ! ガソリン代も減らし、地球にも優しく。バスの運転手が意識して取り組んでいます。

私たちが“今”できることを!!

(学校法人渕野学園) 幼保連携型認定こども園 富士見が丘こども園

各項目の活動内容紹介

富士見が丘こども園では、平成13年度にエコ幼稚園に指定され、幼いころから自然にエコの大切さを身につけてもらいながら、保護者にも意識してもらい、地域に根差したこども園を目指してきました。

○青少年赤十字加盟



赤十字の活動を行いながら、「気づき考え行動できる子どもの育成を図る」をねらいにしています。

毎年5月に結成式を行い、赤十字大分県支部の方の絵を使用したわかりやすい話を聞きながら今後の実践に結び付くように活動しています。



○避難訓練



年に数回不審者訓練・地震訓練・火災訓練などの訓練を通して命を守ること、避難の仕方を学び、年に1回消防署の方にも指導を頂いています。



○エコマザー



九州電力の方に来てもらい、ペープサートで分かりやすくエコについての話をしてもらいました。満3歳児も参加できる内容です。



○平成24年よりエコキャップ回収（イオン九州株式会社を通じて3つの支援団体に寄付）



令和6年度	51キロ	(11人分)
令和5年度	53キロ	(13人分)
令和4年度	115キロ	(28人分)
令和3年度	151キロ	(38人分)
令和2年度	152キロ	(38人分)
令和元年度	195キロ	(48.5人分)
平成30年度	198.5キロ	(49.5人分)
平成29年度	228.8キロ	(57.2人分)

○令和5年度よりベルマーク回収

令和6年度 4,940円分



○自然にドキドキ



年長児は年4回自然に触れる体験活動を実行。自然に詳しい先生に色々なことを教えてもらっています。自然との関わりが少なくなっている子どもたちにとってはとてもよい時間になっています。



○花壇の草花の手入れ・食育活動



当園では、教師や保護者が園内の草花の手入れをし、環境美化に努めています。園内には様々な木もあり、柿やヤマモモ、桑の実やムベなど季節に食べられるものもたくさんです。

また、子どもたちも各学年で様々な野菜や花を植え、育てる教育を行っています。

キュウリやトマト、枝豆やサツマイモなど・・・収穫も楽しみですが、自分たちが育てた野菜は食べられる子どももいます。まさに食育です。これからも続けていきたいと思います。



○SDGs

各部屋に張り出し、SDGsを意識できるようにしています。

教職員にも保護者にももっと浸透していくとよいと思います。



○お散歩ごみ拾い



令和6年は園内外のゴミ拾いを行い、園内にはないゴミの存在にも気づくことができました。また、園外のお散歩ゴミ拾いも行い、分別も意識しました。



環境関連法令の遵守状況

当園に関わる主な法令は、廃棄物処理法・家電リサイクル法・自動車リサイクル法です。一覧表により判定した結果、環境関連法規等への違反、関連機関からの指導及び外部からの訴訟・苦情等はありません。

代表者による全体の評価と見直し記録

評価対象の期間	運用期間（令和6年4月～令和7年3月）の活動		
見直し実施日	令和7年 5月13日（火）15時～	場所	園長室
出席者	代表者 淵野 環境管理責任者 中川 事務局 高橋		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1. 環境関連法規等の遵守状況 確認結果	環境関連法規等への違反、関連機関からの指導および外部からの訴訟、苦情等はありません。	法規遵守をしながら、学園の環境整備を行って下さい。
2. 環境経営目標の達成状況	数値を変更し、達成が難しい分野もあるが、無理なくできる方法を引き続き考えていきたいです。	無理なく目標達成ができるように日々環境について話題になるようにしてください。
3. 環境活動計画の実施状況	教師・子どもともに高くなってはいますが、特に教師一人ひとりがもっと積極的に動けるようにしていきたいです。	環境経営目標は学園全体で向かうものです。意識の低い保育園に指導を行ってください。
4. 問題点の是正・予防の状況	冬場の喚起をしながらのエアコン使用など、感染症流行時には電気代などが上がることもまだあります。反対に水道代は減りつつあります。引き続きトイレの使い方や、ペーパーレスなどできる取り組みをしています。	これまで経験することがなかったコロナにより、多くの環境変化に対応ができず、経営圧迫にもつながったが、今後は予防措置に注視して取り組んでください。
5. 外部からの苦情の有無及び 対応結果	特にありません	特にないことは大変喜ばしいことであるが、「万が一」を常に意識に「きめ細やかさ」を第一に外部との関係をよくしてください。
6. 環境上の緊急事態の訓練	避難訓練内容は毎年見直しています。おかげで年々よい訓練ができています。今後は避難後の動きも含めた丁寧な訓練を行っていききたいと思います。	あらゆる避難訓練にも的確に対応できるためには日々の教職員間のコミュニケーションが重要であることを心し、業務にあたるようにしてください。
7. その他	特にありません。	

断見直しと代表者の必要性の指示	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続する
	③環境活動計画	継続する
	④環境経営システム	継続する
	⑤実施体制	継続する
	その他の指示	なし

記録作成日： 令和7年5月13日
保管期限： 3年間